

刊夕日廿月二  
**常磐寄日新聞**

定価 一冊五錢  
一月五拾五錢  
三月一圓二拾五錢  
半年二圓一拾五錢  
一年三圓一拾五錢  
廣告料 五錢  
印刷所 常磐寄日新聞社  
發行所 常磐寄日新聞社  
電話 六三〇  
印刷所 常磐寄日新聞社

「日本の自序」(四)

川崎君に呈す  
安・倍・季・雄

それから丁度一週間たつた。

或日、倉本中隊長は、公主嶺の満鐵事務所に用事があつて、今しも出かけやうとして居る所へ、一通の手紙が配達された。何気なく手に取つて見ると、封筒の表には、尋常一年生でも書きそうな、へたくそな片假名で、コウシュレイ、ニッポンヘイタイサン、タインヨサツと書いてあつた。

「何だらう、どこかの子供がよこしたんだな。」と思ひながら、倉本中隊長はバリバリと封を切つて、首をかじげ／＼読んで居たが、五行、十行と読みゆくうちに中隊長の眼の色は、だん／＼變つて來た。

中隊長は二度くりかへして其の手紙を読んだが「ハハア川合と藤澤だな」とひとり言。急ぎ當番に命じて召集ラッパを吹かせ、中隊長の兵士全部を練兵場に整列させ

「徳は隠せば隠すほど光るお前達の情により、ホロノフ少年はめでたくお母さん

に會ふ事が出来たぞ。ホロノフの母親の手紙にはかう書いてある。……國を失ひ、良人を失ひ、家を失ひ天下によるべき哀なる母親が、別れて三年このかた片時も忘れた事のなかつたわが子——見違へるばかりに大きくなつたホロノフから、お母さんと言つて取り繼られた時の嬉しさを思ひ浮べて下さい。ホロノフは申しました。日本兵隊さん神様ある。その通りであります。私は今まで、日本の兵隊さんは、戦争に強いばかりかと思ひました。違ひました。日本の兵隊さんは親の情がよく分る。世界中で一等正しい、本當に強い兵隊さんです。どうぞ食ひきロシヤ人母子の心からなる感謝をお受け下さい。」と

飛行機の  
プロペラ  
が廻轉する  
險其先端の速度は一秒  
四百米に達する、音の空  
中速度三三二米よりも早  
い譯だ。

書いてある。中隊長は全軍を代表して、陛下の軍人の眞價を、外國人にまで知らせてくれた川合上等兵、藤澤上等兵に謹んで禮をいふ。「かう言つた倉本中隊長は、改めて兩上等兵に、隊

に濟をくはれた夢の話と、濟の價値の尊さを話させた後で、中隊長自ら音頭を取つて、兩上等兵の濟の萬歳を唱へた。

その川合上等兵も藤澤上等兵も、過ぐる昭和六年九月十九日の南嶺の戦に於いて、すばらしい手柄をあらはしたが、中隊長の倉本大尉は、草むす屍大君のへにこそ死なめと勇み進む間に敵弾に胸を射ぬかれ、天皇陛下萬歳を唱へて、名譽の戦死を上げた。私はその翌年の十一月九日、その新戦場をたづねて、倉本少佐戦死之處と書いた標木の前にたち、その英靈を弔つて來た。「兵隊さんのお濟」の話これでおしまひ。

これが私の話の荒筋である話す話を聴かせる話にするには、これだけの苦心と用意が要るものだといふザンブルまで書いて見た。諸君の御参考ともならば満足である。

**高久病院**

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新瀉醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
内科小兒科 平町田町 電話五二三番  
耳鼻咽喉科 外科花柳病科 レントゲン科

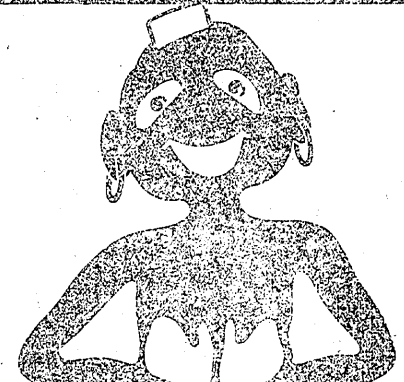
蓮花環  
華籠  
造花  
は  
屋本橋  
町川新平  
番三六一話電

木炭代用  
月星豆炭 一八キ口壹袋  
金八十錢  
平驛前  
阿部石炭商店

玉屋洋品店  
平町田町通電話六五六番



吸入用酸素純度 99%  
モノサシ  
マ ス  
ハカリ  
器量計  
體溫計  
寒暖計



平周韻

●秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス  
關内藥局  
電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

かまぼこ 製造  
お惣菜用 さつま揚 吉原揚  
平町一丁目  
電話一四一番

# 火力発電

## 昭和入絹が

### 昨日認可申請

#### 阿部氏の研究発表と合致

大工業計劃に附随する電力の需要は當地の如く石炭を豊富に所有する土地に於いては火力発電に依つて自給するを有利とするは、鑛に鐘紡誘致運動の條件の一つとして平商工會理事阿部政右衛門氏がその研究の結果を發表せる通りにて本紙の既記する處であつたが今回錦村に建設中の昭和

# 電報激増

## 炭礦と漁業の

### 活況が影響

平郵便局で昨年の四月より本年一月迄の十ヶ月間取扱つた電報の数は発信が二萬六千八百八十通で前年よりは千二百七十六通を増し、着信は三萬四千九百六通で百七十二通の増、中繼が十八萬九千三百六十八通で一萬六千三百五十七通増、合計数は二十五萬四千五百四十四通で一萬八千十一通激増した。これは炭礦並に漁業方面の活況が影響したのであると

# 蠶糸祭り

## 來月廿八日に

日の蠶業組合法發布日を記念し郡下蠶糸界の不況へ活を入れる爲め當日は製糸工場、組合等を皆勵して大々的蠶糸祭を催し種々の餘興を催して有意義に終らせやう近く各工場團體と打合せの豫定である

# 凶作防止

## けふから協議

既報縣主催で郡下の凶作防止實行委員協議會は本廿一日の兩日縣の白木技師、田中技手臨席の上左の如く開かれる

# 緬羊の飼育が益々發展す

## 軍部の買上を力を得た結果

郡下農村の副業緬羊の飼育は最近軍部の羊毛、羊肉の買上に刺戟され磐崎、泉、玉川、上遠野各村に益々盛んであり現在郡下の飼育数は二百頭を數へらるゝに至つたが馬一頭の費用で五六頭の緬羊が飼はれその毛は一俵八九圓から十二三圓で軍部や毛織會社に捌け口があり糞も肥料として相當に賣れるので今後飼育に拍車を掛けて發展する模様なので郡農會でも近く緬羊組合

# 磐女の二部

## 受験生出發

磐女の女子師範受験生は愈々明二十一日より三日間試験が行れるので今二十日土岐教諭引卒平發午前八時三十分で出發したが受験者數は在校生二十一名、卒業生三名計二十四名である

# 女青大會出席

## 平町

紺屋町門傳辯護士令姪喜美子さんは来る三月五、六の兩日東京日本青年會館に於て開催される全國女子青年婦人大會に出席する事になつたが本報から選定される

# 平町人事

## 回出生

- △長橋町三十 當時東京市荒川區三河島町五丁目齊藤伊三郎氏長男伊千雄
- △搔槌小路 當時東京市荒川區尾久町二丁目高野勝治氏長男勝沼
- △長橋町 當時東京市荒川區

# 宗正らひた

## 美味! 芳醇!

山崎合名會社  
電話一〇番

# 貸切の御用命は!

## 電話六四〇番

### 尼子タクシ

是非お願いいたします  
遠乗りには特に御相談に應じます

## 耳鼻咽喉科専門

# 鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男  
平町田町(電話五八番)  
藤田女學校前

# 長唄御稽古案内

三味線お唄共に晝夜御隨意  
出稽古も致します  
平町一丁目南川岸  
(渡邊銃砲店裏)

# 杵屋六美

# 生徒募集

- 一、卒業年限 兩科通ジテ一ケ年
- 一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等ノ學力アル者へ無試験入學ヲ許ス

# 平町一丁目

# 石城産婆學校

校長 應崎 千代  
電話三五七番

洋食 喫茶 會 宴

エビフライ  
ピフテキ

コンパル  
平塚前新道通り  
666-ELT

# 農家は

## 高利に悩む

### 大部分一割以上

#### 警女生見學

##### 病院や銀行

本部農會の最近の調査に依ると農家の借金は一戸當り千圓は下らないと見られて居るが、この利率がまた馬鹿に高く、一割未満のものはいせいで四二%あつた一割以上の高率で、利率一割二分が二九%、一割五分未満が二二%、一割五分以上が六%といふ割である、農家が如何に高い利率に悩まされて居るか、わかる、そこで負債整理事業が、經濟更生計劃の根幹となるわけだが、凶作の打撃でこの整理事業も一向促進されて居ない

警女の今年度卒業生百九十三名は今日二十日赤木教諭に引卒業され警城共済病院を見學したが来る二十二日には野口教諭引卒の下に常磐銀行及び郵便局を見學の豫定

**卒業生送別會** 既報平商の卒業生送別會は明日十一日午後一時から同校講堂に於て開會の辭、送辭、祝辭、謝辭の順に依り催されるが終つて餘興として福引其他ある由

# 欠食兒に 春の訪れ

## 体重も増して 効果頗る擧る

貧困の爲めに學校へ辨當の持参出来ぬ兒童に對し政府及び縣の補助を得て給食して兒童は本郡内に現在三百五十三名あり、此の内學校で給食して居るのが二百二名、學校に給食の設備が不充分的の爲め家庭に金品を給與して給食して居るのが百

五十一名あるが是等兒童に對する給食前と給食後の成績を總合すると大体左記の如くで頗る効果を擧て居ると

△体重が増加して血色がよくなつてきた

△實施前は病氣の爲め欠席者が多かつたが最近健康

が増進、特別の事項者以外の欠食兒がなくなつた

△榮養不良兒がなくなつた

△常に優柔不斷で活氣に乏しい兒童も運動好きとなり活發になつて讀書力も出て來て學問好きになつた

△實施前の兒童は物事に飽き易く落ちつきがなかつたが近頃はねばり氣が出て落ちついてきた

△前は晝食時になると打しほれ元氣を失つてゐたが

# 旋風機で

## 腹を割かる

### 氷結した慘屍体

#### 磐炭住吉換氣坑で

内郷村宇高坂磐炭住吉坑の換氣旋風機前に腹部を割かれて絶命して居る老人を通行人が發見其筋に届出たので草刈派出部長が檢死せ

る結果傍にあつた草刈鎌の印に依つて平窪村大字四波字新田一三五下藤治三郎(六〇)と判明したが同人は五年前より精神に異常を呈し監視中昨年十月廿三日草刈鎌を持つて家を飛出し前記換氣坑に入り誤つて旋風機に觸れ腹を割かれて絶命したが旋風機より起る強風に吹かれて其の儘氷結ミイラの如くなつて居たものであり

# 大金拐帶

## 湯本温泉に

東京市荏原區中延二二一數仲保一方雇人宮城縣桃生郡北村生れ大石政雄(五五)は本月五日主人の命で第一銀行大崎支店より現金三千二百圓を引き出しに行きその金を拐帶して行衛を晦したが郷里宮城縣からの歸途湯本温泉に潛伏して居るらしいからと本日平署へ主人より捜査方を願出た

# 學藝會の豫行

既報来る二十三日午前九時から學藝會を開催する平第一小

# 平町將棋大會

平將棋耳樂會は来る廿四日午前九時から五丁目料理店吉田

明日の予報

今日も明日も南西の風晴曇半す

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) 講話「アルミニウム」 庸生

後六、二五 基礎英語講座 岡倉由三郎

此頃は明らかに気分よく他の兒童と一緒に喜んで會食するようになった

明日の部

後七、三〇 講演「法廷にばれ話」 司法省民事局長 大森 洪太

後八、〇〇 女流コンサート 中村 淑子

後八、五〇 物語「二人の稚兒」 河原崎國太郎

後九、三〇 時報「ニユノス」 氣象通報 沼田 謙吉

後二、〇〇 家庭講座「詠曲のお稽古」 大槻十三

後五、三五 將棋實戰(第三日) 解説尾形武雄

後六、〇〇 子供の時間 管絃樂東京オーケストラ

後六、二五 英語講座(三) 後七、三〇 講演

後八、〇〇 齒八節 宮齒千廣外

後八、二五 獨唱 マリオ

後八、四五 ラヂオ風景

後七、三〇 講演「法廷にばれ話」 司法省民事局長 大森 洪太

後八、〇〇 女流コンサート 中村 淑子

後八、五〇 物語「二人の稚兒」 河原崎國太郎

屋で第二回郡下の將棋大會を催す

後七、三〇 講演「法廷にばれ話」 司法省民事局長 大森 洪太

後八、〇〇 女流コンサート 中村 淑子

後八、五〇 物語「二人の稚兒」 河原崎國太郎

屋で第二回郡下の將棋大會を催す

後九、三〇 時報「ニユノス」 氣象通報 沼田 謙吉

後二、〇〇 家庭講座「詠曲のお稽古」 大槻十三

後五、三五 將棋實戰(第三日) 解説尾形武雄

後六、〇〇 子供の時間 管絃樂東京オーケストラ

後六、二五 英語講座(三) 後七、三〇 講演

後八、〇〇 齒八節 宮齒千廣外

後八、二五 獨唱 マリオ

後八、四五 ラヂオ風景

後七、三〇 講演「法廷にばれ話」 司法省民事局長 大森 洪太

後八、〇〇 女流コンサート 中村 淑子

後八、五〇 物語「二人の稚兒」 河原崎國太郎

屋で第二回郡下の將棋大會を催す

後七、三〇 講演「法廷にばれ話」 司法省民事局長 大森 洪太

後八、〇〇 女流コンサート 中村 淑子

後八、五〇 物語「二人の稚兒」 河原崎國太郎

屋で第二回郡下の將棋大會を催す

後九、三〇 時報「ニユノス」 氣象通報 沼田 謙吉

後二、〇〇 家庭講座「詠曲のお稽古」 大槻十三

後五、三五 將棋實戰(第三日) 解説尾形武雄

後六、〇〇 子供の時間 管絃樂東京オーケストラ

後六、二五 英語講座(三) 後七、三〇 講演

後八、〇〇 齒八節 宮齒千廣外

後八、二五 獨唱 マリオ

後八、四五 ラヂオ風景

古巢に立寄る 群馬 縣桐生市小梅町友仙加工業 栖崎靜雄の内縁の妻大分縣 南海郡那上野田村生れ川原 露子(三〇)は本月十一日夜家 出をしたが同人は二三年前 迄平町で左棲をとつて居た から平町に立寄るらしいと 亭主から捜査願が平署に出 た

後七、三〇 講演「法廷にばれ話」 司法省民事局長 大森 洪太

後八、〇〇 女流コンサート 中村 淑子

後八、五〇 物語「二人の稚兒」 河原崎國太郎

屋で第二回郡下の將棋大會を催す

後九、三〇 時報「ニユノス」 氣象通報 沼田 謙吉

後二、〇〇 家庭講座「詠曲のお稽古」 大槻十三

後五、三五 將棋實戰(第三日) 解説尾形武雄

後六、〇〇 子供の時間 管絃樂東京オーケストラ

後六、二五 英語講座(三) 後七、三〇 講演

後八、〇〇 齒八節 宮齒千廣外

後八、二五 獨唱 マリオ

後八、四五 ラヂオ風景

# 無錢投宿が動機で

## 畫才の技能を認められ

### 七福神を揮毫

田村郡飯豊村生れ五十石顯男(三三)は不景氣風に煽られ失職、妻子と共に各地を放浪中無錢投宿の廉で檢舉され其筋の取調を受けながら幸ひ不起訴となり平自營會

に收容保護されてゐる間に軸畫の揮毫に天才的の才能を有する事が會長清田檢事の目に觸れ最も得意な七福神と十三佛の軸畫揮毫に依り生計の途を立てる事にな

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雜誌が 自由に讀める 川崎巡 回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

△上工 二十四才 高卒

△出前持 二十二才 高卒

△鐵工 十八才 高卒

△トラック助手 二十一才 高卒

△印刷見習 十八才 尋卒

△吹奏婦 三十迄 委細面談

△回職を求める方

△漁夫 五十迄 十七名

△醬油店員 十九才 尋卒

△炊事婦 三十迄 委細面談

△回職を求める方

△トラック助手 二十一才 高卒

△上工 二十四才 高卒

△出前持 二十二才 高卒



# 明治太平記

(作) 寺島 証史

(畫) 野口 漣

第五十七回

## 助太刀商賣 (七)

男の意地だ、引込みがつかなくつた井手は、さらに筒口を大志賀に向けてぐいと引金を引かうとしたとき

扉が……ふしぎにも扉がみたび静になつた。かかれた  
——おや——  
六つの眼が一齊に扉の方へ注がれた。  
——こんどこそはパークスだな。  
三人とも、こゝろに背いた。そして、三人三様に身の處置に迷つた。が大志賀は、先ニヤリと笑つて、ふたつび寝臺の下へ……おとわは、當然の役目としてドアの方へ足を向けた。  
井手だ。逃げおくれた井手はうろ／＼室中を見廻したが、もうそこには五尺の身の隠れ場もなかつた。  
彼は、しかたなしにどかと椅子に腰を落した。  
途端にドアがひらかれた。パークスの巨體がのつたりと運ばれてきた。  
彼はいきなり情熱的におとわを抱きながら、人臭いともいひたげな顔で室中

「おう、あんたは？」  
「もえるやうな眼を井手に注いだ。」  
井手は、反射的に椅子を離れた。  
「は、はい、大隈重信閣下の秘書、井手六三郎でございます。」

「いや、いけません。用件は明日改めて公使館でございませう。出ていってくださるやい。」  
「はい。」  
井手は澁々あるさだした。「はやく、出ていきなさいやい。もし、わたしの命令にしたがはぬと、これですぞ」みると、これこそ本格に短銃を井手の背後から擬した。  
「は、はい、さつそく退去いたします。」  
井手は、寝臺の下にかくれてる男のことを一言告げようとしたが、それさへ

「はッ」  
「もうよろしい、扉をしめなさい……おとわしやん、いけませんな」  
パークスは、おとわの上半身を抱いて、恨めしさうな顔をした。  
「いゝえ、何でもございませぬのよ」  
おとわは、晴々しく笑顔をみせつてみた。  
「男を、絶対に此室へ入れはなすませぬ。このことを忘れると損ですぞ」  
「ですから……」  
「もうよい。おとわしやん」  
おとわは、わざと身を避けて  
「あのう、旦那さん、何しにいらしたの？」



「大隈しやんの……おとわしやんに用件ですかい？」  
「はい。」  
「婦人の室へ参るとは、いけませんな。出ていきなさいやい」  
「はッ、じつは、大隈閣下の……」

「はッ、じつは、大隈閣下の……」

**専 門**  
産 婦 科  
花 柳 病 科  
入 院 隨 意

**井 坂 醫 院**

平 町 田 町 電 話 五 五 九 番

店主	か	店員
を運	れ	て行
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ

平 町 田 町 電 話 五 五 三 番

**看護婦急派の求めに應じます**

平 町 南 町 電 話 三 〇 七 番

**大 全 屋 店**

磐城セメント會社特約店

平 町 五 丁 目 電 話 九 番 九 九 番

良品廉賣に勝る商略なし

確實敏捷はの生命なり

操鏡院葬送の際は御多忙の處遠路わざわざ御會葬被成下御厚志の段難有略儀乍ら紙上を以て御禮申上候

昭和十年二月二十日

佐々木喜平  
外親戚一同

**十錢日掛で蓄音器が買へます**

(此際申込の方にレコード十枚進呈)

**レコードはメトロ**

蓄音器の修理は實費でいたします  
春の宵にふさはしい

**名曲レコード(五枚一組)**

宣傳のため一晩十錢でお貸いたします。ハガキで申込下さい。お電話頂いても順番が御座いますからその日にお届け致し兼ねる場合も御座います。

安いので奉仕する一坪の店

平町四丁目

**メトロレコード店**

電話(呼)二二四番

米國製劑皮膚病良藥

**レメドール**

子宮あたゝめぐすり

**宮 温 湯**

丹波博士創製セキドメ

**たんぽあめ**

**靈藥ムテキ**

平町古銀治町一

**阿 康 藥 舗**

縣社ノ下 電話四四番